

## 2025年度全日本学生柔道形競技大会（第4回） 要項

1. 大会名 : 2025年度全日本学生柔道形競技大会（第4回）
2. 主催 : 全日本学生柔道連盟
3. 主管 : 北信越学生柔道連盟
4. 競技種目 : (1) 投の形 (2) 固の形 (3) 柔の形
  - ・各種目において、性別の組み合わせは問わない。
  - ・複数種目の出場は認めない。
  - ・本大会は「録画審査方式」を採用する。
5. 出場資格 : (1) 今年度、全日本柔道連盟に登録済みの者  
 (2) 国公私立大学または短期大学などに在籍の者  
 (3) 在学中、実業団その他の職域チームに属し、その試合に出場していない者  
 (4) 在学期間における、日学柔連指定修得単数を満たしていることとする。
6. 参加申込 : (1) 申し込み先  
 〒921-8501 石川県野々市市扇が丘 7-1 金沢工業大学 鈴木貴士  
 E-mail : [suzuki-t@neptune.kanazawa-it.ac.jp](mailto:suzuki-t@neptune.kanazawa-it.ac.jp)  
 (2) 申込方法  
 ①各地区学生柔道連盟が参加者を取りまとめ、一括して、申込用紙を上記申し込み先にメールにて送信する。  
 ②在学証明書及び成績証明書は原本を全日本学生柔道連盟事務局に送付する。  
 (3) 申し込み期限  
 ①申し込み期限は、2025年10月31日（金）17:00までとする。  
 ②大会主管事務局の返信をもって、参加申し込みが完了したこととする。  
 (4) 映像の提出期限  
 ①映像は、大会主管事務局が参加校に送付したリンク先へ期日までにアップロードすること。その際、動画ファイル名は、事務局側で指定した「種目+番号」とする。  
 例) 投01、固11、柔23  
 ②映像のアップロード期日は、2025年11月10日(月)～12月14日(日)23:59までとする。  
 ③映像の提出にあたっては、各所属の責任者が確認し、映像に不適切な動作や不謹慎な態度がないか確認したものを提出することとする。また、提出された映像に上記内容が含まれている場合は、審査対象外となることもある。  
 ④大会主管事務局が映像を確認し不備がなければ「受理」、不備があれば「修正依頼」の連絡を行うため、期限を問わず、早めに提出することが望ましい。なお「修正依頼」をした大学については、概ね1週間以内に再提出すること。  
 (5) 大会参加費  
 1組：4,000円とし、各地区学生柔道連盟が取りまとめて、11月27日(木)までに下記口座に振り込むこと。  
 振込先：三井住友銀行 小石川支店（813）普通 428679  
 （一社）全日本学生柔道連盟 会長 沖永佳史

7. 各地区出場枠 各地区の出場枠は以下のとおりとする。

北海道	東北	北信越	関東	東京	東海	関西	中国四国	九州	合計
4	4	4	10	17	4	8	4	5	60

【申し込みの際、以下の条件を満たしていること】

- (1) 3の倍数分の枠は、「投の形」「固の形」「柔の形」へ均等にエントリーすること。
  - (2) 端数の枠はどの種目へのエントリーでも可とする。  
 例1：出場枠が4の地区：投・固・柔に各1組エントリー、残り1組は種目を問わない  
 例2：出場枠が8の地区：投・固・柔に各2組エントリー、残り2組は種目を問わない
  - (3) 少なくとも1組は女子を含めなければならない。
  - (4) 1団体につき、出場できる組は各地区出場枠の1/4（端数切捨て）とする。  
 但し、男女柔道部がある場合はそれぞれ1つの団体とみなす。また、東京地区は1団体の上限を3組までとする。
  - (5) 各地区出場枠は上記のとおりであるが、出場希望者が規定枠を上回る場合、最大2枠まで追加を認める。但し、1校の上限は原則として規定枠を含め3組までとする。
8. 撮影規定 : 動画の撮影方法においては、以下のとおりとする。  
 ※別紙「形競技大会（録画審査方式）動画撮影要領」を必ず参照すること
- (1) 服装・衛生  
 ①柔道衣に関しては全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣、下穿、帯）を着用すること。柔道衣は取受ともに白とする。インナーの着用は不可とし、女子のシャツは白とする。  
 ②所属を示すゼッケンのある柔道衣とする。  
 ③長髪の場合は、動作の妨げにならないように束ねること。
  - (2) 撮影範囲・位置  
 ①四間の間合い時に被写体が途切れることのないようにカメラの位置を調整すること。  
 ※場外での取受両方の立礼が入る位置をフレーム幅の基準とする。投の形、柔の形でははみ出す場合があるので、場外での取受両方の立礼が入る位置をフレーム幅の基準とす

る。演技中は、四間の間合い時（両者の距離（約7.3m）に被写体が途切れることのないように撮影すること。

※逆に四間を大幅に超える場合は、演技映像が小さくなってしまいますので注意すること。

②カメラの位置は概ね立礼時の演技者の帯～頭（上半身）を目安に高さを設定し、必ず固定して撮影すること。

③映像には演技者以外の人や演技以外の音声が入らないようにすること。

④逆光など映像が鮮明に映らないような要素は極力排除すること。

(3) ラインテープ

①取受が演技の始めと終わりに立礼又は坐礼をする位置を示すためにラインテープを貼ることとする。ラインテープは幅約10cm、長さ約50cmとする。

②テープ色は畳の色と同色を避けていけば問わない。

③中央（前後左右の中心）にテープを貼る。

④中央から一間半（約275cm）空けた位置にテープの外側を合わせる。

⑤演技者はテープの外側につま先を合わせる（テープは踏まない。テープは外側に貼るので越したり、離れすぎたりしないようにする。）

⑥チームにより試合場や畳の大きさが異なるため、畳の枠で合わせず、中心からの距離でテープを貼ることとする。

(4) 動画

【画像による審査への影響を排除するため、動画の規格を以下に定める。】

①画素数（フレーム枠）は1920×1080であること。

②動画のフレームレート（fps）は概ね「30」であること。

③①②を満たしていれば、録画する機器は指定しない。

④撮影者がおらずセルフでの撮影となる場合は、演技前後の部分が入ってもかまわない。

⑤動画は未編集のものとする。但し、「演技前の『場外での取受両方の立礼』」から「演技後の『場外での取受両方の立礼』」以外は切り取ってもかまわない。

9. 競技方法 : (1) 審査及び審査員

①審査は「全日本柔道連盟講道館柔道形競技規定」及び「講道館形競技規定に関する申し合わせ事項」によって行う。

②原則として1種目の形をその種目の全日本柔道連盟公認形審査員5名で行う。

③審査員は、評価した点数を公式採点票に明記する。

(9) その他

本要項に定められていない事態が発生した場合、審査員は、審査員長及び大会委員長と合議の上、処理する。

10. 傷害保険 : 撮影における怪我等に関して主催者は一切の責任を負わない。各自傷害保険等に加入すること。

11. 表彰 : 各種目の上位3組を表彰する。4～8位に「優秀賞」を授与する。

12. 審査 : 2025年12月19日（金）～21日（日）講道館会議室（予定）

13. 大会事務局 : 主催事務局：全日本学生柔道連盟

〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館内 （一社）全日本学生柔道連盟

TEL 03-3818-1587 FAX03-3818-1960

主管事務局：北信越学生柔道連盟（担当校）

〒921-8501 石川県野々市市扇が丘7-1 金沢工業大学 鈴木貴士

E-mail : [suzuki-t@neptune.kanazawa-it.ac.jp](mailto:suzuki-t@neptune.kanazawa-it.ac.jp)

※大会に関する問い合わせ等はすべて主管事務局である北信越学生柔道連盟担当校（金沢工業大学）に行うこと。

14. その他 : <個人情報（所属・氏名）や肖像権の取り扱い>

(1) 提出された動画のうち、入賞組の映像は YouTube にて公開される場合がある。また、報道機関や柔道連盟等により新聞および関連ホームページ等に公開される場合がある。動画は各種講習会での映像資料として活用される場合がある。動画を提出した時点で、個人情報（所属・氏名）や肖像権についての上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

(2) 各形の優勝組は、次年度の全日本学生柔道優勝大会などの当連盟主催大会において「形」を披露することとする。

(3) 各形の上位5組程度は、全日本柔道連盟が主催する形強化練習（合宿）に参加し、一定水準以上の技量が認められた場合は、次年度開催される国際大会に派遣されることがある。